

# 福岡県の令和4年度当初予算に関する 福岡県議会等への要望 結果・概要

市議会事務局政策調査課

**1 要 望 日** 令和3年9月3日（金）

**2 場 所** 福岡県議会 議会棟

**3 出 席 者**

**(1) 北九州市議会**

鷹木議長、成重副議長、  
北九州空港機能強化・利用促進特別委員会：中村委員長、渡辺副委員長

**(2) 福岡県議会**

秋田議長、十中副議長、  
空港・交通インフラ調査特別委員会：原中委員長、川端副委員長

**(3) 九州の自立を考える会**

藏内会長、松本県議、原口県議、松尾（統）県議、長県議、  
中尾県議、吉村県議、野原県議

**4 概 要**

- 鷹木議長、中村委員長が要望書を手交のうえ、強化期間の継続や北九州空港の航空ネットワークの早期再構築、国際貨物の取扱量の増加に向けた支援、滑走路延長の着実な実現等について要望するとともに、コロナ禍における北九州空港の現状等を説明。  
その他、本市及び福岡県の執行部からも意見を聴取。

- 以下、福岡県議会からの主なご意見の概要を記載。

**(九州の自立を考える会・藏内会長)**

北九州空港の発展は福岡県の課題であり、これを達成するためには福岡県と北九州市が一体となって、この問題に取り組むことが肝要である。幸い、福岡県と北九州市ほど、県下で良好な関係を築いている市町村はない。

北九州市選出の県議会議員からも「北九州空港は、将来の在るべき姿に近付いている」との意見を聞いており、たいへん嬉しく思っているが、まだまだコロナとの戦いは続いており、県としても応援しなければならない課題があるため、今後も研究を深めながら、秋田議長の下、北九州市選出の議員をはじめとした関係議員で協力し尽力していきたい。

### (秋田議長)

北九州市議会による、北九州空港の滑走路3,000m化への熱い想いを承った。

福岡県と北九州市は、ワンヘルスに関する国際会議を契機に、さらに良好な関係となっている。

県議会としても、本件については関係議員と協力し尽力していきたい。

### (松本議員)

- 藏内会長の下「九州の自立を考える会」が提言された項目の中に、北九州空港と福岡空港の連携強化や、先日、完成した北九州空港へのアクセス道路などがあり、着実に進められている。

先ほど、北九州市議会から、コロナ禍により厳しい状況にあるとの話を受けた。以前から、県執行部より「滑走路延長のためには、貨物取扱量をさらに増やす必要がある」旨聞いていたが、ハブ空港である仁川空港との連携を強化するなど精力的に推進したところ、国際貨物の取扱量が2倍以上に増え、上屋も増築することになった。何が影響するか分からない。

今後、県議会も空港・交通インフラ調査特別委員会を中心にしっかり議論し、関係議員と密に連携し尽力していきたい。

### (原口議員)

- 先日、テレビで「北九州空港は本州との玄関口として、山口県からも多くの人を訪れている」との放送があったが、バスによるアクセスにもさらに力を入れることで、コロナ禍からのV字回復に資するのではないかと思っている。

北九州空港は、どちらかといえば貨物空港として発展していくものと思っていたが、旅客も重要であり、その両方から収益を上げていく中で発展していくためには、施設の整備等がさらに必要ではないか、ということが分かってきた。

福岡県議会としても一丸となり、これら問題の解決に向け尽力していきたい。

### (原中委員長)

要望については、しっかり承った。門司区選出の川端副委員長から地元の実情等をよく伺いながら、本件については正副委員長、一体となって尽力していく。

私も、北九州空港には何度も足を運んでおり、副議長就任時には大連路線の就航式典にも出席し、素晴らしい国際路線ができた嬉しく思い、また、私も北九州空港から大連に行きたいと思っていた。現在は、新型コロナウイルスの影響により旅客が落ち込んでい

るが、ハブ空港と連携して貨物を中心としながら24時間空港という強みを生かし、さらには福岡空港としっかり連携してV字回復を果たし、飛躍することを期待している。

また、福岡県議会においては下関北九州道路についても大きな政策課題となっているように、北九州空港については今後、下関市や山口県からのさらなる利用促進についても考えていきたい。

現在、東九州3県の県議会がしっかり連携していることから、東九州自動車道も活用して北九州空港を利用してもらうなど、北九州空港は様々な面で伸びしろが十分にあるため、しっかり活用しなければならないと思っている。

福岡県は議会・執行部ともに県を挙げ、連携して北九州空港の活性化に取り組んでいく。要望内容は、しっかりと県執行部に伝える。

### (川端副委員長)

現在、福岡県と北九州市は非常に良好な関係にあり、県民・市民のためになる政策を、予算も含め、両議会で協議する機会をたいへん貴重である。

原中委員長をはじめとした関係議員とともに、地元・北九州市の意見をしっかりと伺いながら、今後も尽力していきたい。

